

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。

(こちらに掲載している内容は、2023年3月現在の内容です)

適用病害虫と使用方法

① グループ登録

作物名	適用病害虫名	使用時期
野菜類※1	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
結球あぶらな科葉菜類※2、 非結球あぶらな科葉菜類、 あぶらな科野菜(花蕾及び茎)	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	アオムシ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
果樹類(りんご、かきを除く)	ケムシ類	発生前～発生初期
花き類・観葉植物(ばら、きくを除く)	アブラムシ類、ハダニ類	発生初期
	うどんこ病	発生前～発生初期
樹木類(さるすべりを除く)	ケムシ類	発生前～発生初期

※1結球あぶらな科葉菜類、非結球あぶらな科葉菜類、あぶらな科野菜(花蕾及び茎)、だいこん、ねぎ、トマト、ミニトマトを除く

※2キャベツを除く

② 作物別登録

作物名	適用病害虫名	使用時期
だいこん	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	アオムシ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
キャベツ	ア布拉ムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
ねぎ	ア布拉ムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	シロイチモジョトウ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
トマト、ミニトマト	ア布拉ムシ類、コナジラミ類、ハダニ類	発生初期
	オオタバコガ、ハスモンヨトウ、うどんこ病	発生前～発生初期
りんご	ケムシ類、うどんこ病	発生前～発生初期
かき	ケムシ類、カキノヘタムシガ	発生前～発生初期
ばら	ア布拉ムシ類、ハダニ類	発生初期
	うどんこ病、黒星病	発生前～発生初期
きく	ア布拉ムシ類、ハダニ類	発生初期
さるすべり	ケムシ類、うどんこ病	発生前～発生初期

●希釈倍数:原液 ●使用方法:散布

■本剤および、還元澱粉糖化物、調合油、BTを含む農薬の総使用回数の制限はない。

■食用作物には収穫直前まで使用可能です。

効果・薬害等の注意

- 使用の際には容器を数回振ってから使用してください(沈殿)。
- 本剤はチョウ目以外の害虫には散布液が直接害虫にかかるないと効果がないため、葉の表裏の害虫にムラなく薬液がかかるようていねいに散布してください。
- 病害虫の増殖や外部からの飛び込みが活発なときには、5～7日間隔の連続散布で使用することが望ましいです。
- チョウ目に対しては、若令幼虫に有効なので、若令幼虫期に時期を失せずに散布してください。
- ぶどうの品種(マスカット・オブ・アレキサンドリアやシャインマスカットなど)によっては果実に薬害を生じるおそれがあるため果実にかかるないように散布してください。
- はくさいには複数回散布すると薬害が生じるおそれがあるため注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。
- 桑葉にかかるないように注意してください(蚕毒)。

安全使用上の注意

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- 人に向かって噴射しないでください。
- かぶれやすい体质の人は取り扱いに注意してください。
- 散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。
- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 風向きなどを考え周辺の人家、自動車、壁、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかかるないように注意してください。
- ミツバチ及び蚕に影響があるので注意して使用してください。
- 使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理してください。

【保管】

飲食物・食器類やペットの餌と区別し、直射日光をさけ、密閉して、小児の手の届かない冷涼な場所に横にしないで立てて保管してください。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)